

もしもしホットライン、マックスコムの皆様へ

長い間ありがとうございました

先日関西支社のご厚意により仕事を終えるに当たって記念にとそれぞれの仕事の様子を写真に撮ってアルバムとしてプレゼントしていただきました。その写真には、一人ひとりの生き生きした姿が写っていました。その写真こそ、7人のメンバーがどのような気持ちで日々仕事をしてきたかを鮮明に語っています。口は時として嘘を語りますが、表情は嘘をつきません。写真に写っている、一人一人の写真の笑顔こそ、皆様がどのように接して下さったかをはっきりと伝えてくれております。通常仕事時間に職場に清掃に伺うと、じゃまに感じる方のほうが自然です。にも拘わらずそのような対応ではなくあたたかく応じて下さったもしもしホットライン、マックスコムの方々の包容力には、感謝とともに人間性の豊かさに尊敬の念を禁じ得ません。ここで仕事をさせていただいたことはおそらく、7人の中でいつまでもいつまでも、あたたかい素敵な思い出として記憶に残っていくと思います。

平尾厚康の訓にこのような文章があります。

「常に心がけて陰徳を積むべし。陰徳とは善事をなして、その善を人の知らんことを求めざるをいう。貧窮を救い、餓寒を憐み、老人を助け、病人をいたわり、生きるものを殺さず、万慈悲を心の根とすれば、自然に天道の冥加にかないて、家長久なるべし」

情けは人のためならず。皆様が我々に施して下さった徳行は必ず皆様の身にも大きな幸せをもたらすことになると思います。

心地よい環境の下での仕事を提供して下さったみなさまには感謝をいくらしてもし足りません。親御さんに代わり心より御礼申し上げます。

本当にありがとうございました。